

【岩木川】流域治水の自分事化に向けた取り組み計画 (案)

【フルセット版】

令和7年2月
岩木川流域治水協議会

岩木川水系流域治水協議会（青森市）

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
（自分のためにも、みんなのためにも）

リスク情報等の提供

- 災害ハザードマップ等の更新と公表
- 避難場所の更新と公表



水災害・流域治水の広報

- 地域住民への必要な情報の周知・広報



水災害対策の支援

- 災害が予測される場合の地域住民への土のう配布

水防活動の支援

- 災害時の水防団の情報伝達体制の強化

知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

岩木川流域治水協議会(青森市)

取り組み・主対象		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
知る機会を増やす	広報活動	災害ハザードマップ等の更新や公表等			
自分事と捉えることを促す					
行動を誘発する	水災害対策の支援	災害発生が予測される場合の地域住民への土のう配布			
	水防活動の支援	災害時の水防団の情報伝達体制の強化			
	水災害・流域治水の広報	地域住民への必要な情報の周知・広報			

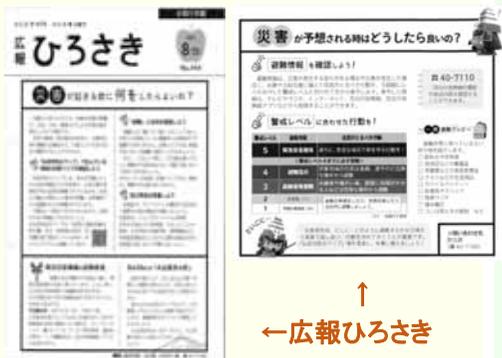
岩木川水系流域治水協議会（弘前市）

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
（自分のためにも、みんなのためにも）

洪水ハザード情報等の周知

- 広報誌「広報ひろさき」での防災特集連載
※災害時の避難に係る周知(計2回)



↑
← 広報ひろさき

- 指定緊急避難場所への看板設置
(N=1基 樋の口公園)



知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

教育活動 (R7.1月時点)

- 小・中学校での防災教育の実施
小・中学校(9校、8回、合計1,365人参加)
- 防災マップを活用した出前講座
・町会等(5団体、5回、140人)
・学校等(4団体、4回、113人)



弘前市防災マイスター

- 弘前市防災マイスター育成・活動支援
・弘前市防災マイスター育成講座
(44人新規認定 計476人認定)
・ステップアップ講座開催予定(R7.2.8予定)
- 防災教育に講師として派遣 (5人、7回)

自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

訓練・演習活動

- 岩木川総合水防演習の実施
(1回、1,900人)
- 図上訓練の実施(4市町村、28人)



排水ポンプシステムの活用

- 緊急排水訓練の実施



青森県総合防災訓練の実施



行動を誘発する

3

流域治水に取り組む主体が増える

3

岩木川流域治水協議会(弘前市)



取り組み・主対象		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
知る機会を増やす	水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体	広報誌、ホームページ等で水害リスクや水害時の避難行動について周知（主に出水期前。以降、随時掲載。）			
	教育活動 地域 個人 企業・団体	小中学校での防災教育の実施、避難訓練におけるアドバイスの実施			
	弘前市防災マスター 地域 個人 企業・団体	弘前市防災マップを用いた勉強会の実施（町会、自主防災組織、学校など）			
自分事と捉えることを促す	弘前市防災マスター 地域 個人 企業・団体	弘前市防災マスター育成講座			ステップアップ講座
	訓練活動 地域 個人 企業・団体	排水ポンプ訓練		● 弘前市総合防災訓練	
	自主防災組織・町会等の活動支援 地域 個人 企業・団体	自主防災組織等を対象とした研修案内、自主防災組織・町会で実施する訓練等の支援			
行動を誘発する	水災害対策の支援 個人	市民等への土のう等の配布			
	訓練活動 地域 個人 企業・団体	排水ポンプシステムの運用			

岩木川水系流域治水協議会（黒石市）

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
（自分のためにも、みんなのためにも）

流域治水の広報

- 総合的な防災マップの作成・配布(令和3年に毎戸配布) 随時更新し、出前講座やイベント等で配布



知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

教育活動

- 市内自主防災組織や各団体に対して出前講座を実施(5回100人)



リスク情報等の提供



- 令和4年に黒石市防災アプリを導入 災害時、円滑に情報を周知

自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

訓練活動

- 岩木川ダム統括管理事務所・黒石市・山形地区で住民参加型の合同避難訓練を実施(1回39人)
- 黒石市総合防災訓練を実施(1回)



自主防災組織等の活動支援

- 防災士の資格取得を補助 (3団体、7名)
- 自主防災組織の防災資機材及び備蓄品の購入経費を補助 (7団体)

行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

岩木川流域治水協議会(黒石市)

取り組み・主対象		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
知る機会を増やす	水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体	希望者に防災マップの配布			
	連携活動 地域 個人				
自分事と捉えることを促す	リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体				
	教育活動 地域 個人	市内自主防災組織・各団体等へ出前講座を実施			
	訓練活動 地域 個人	岩木川総合水防演習	ダム警報訓練 住民参加型避難行動訓練	黒石市総合防災訓練	
行動を誘発する	計画策定 地域 個人 企業・団体	市内自主防災組織・各団体等へ出前講座を実施			
	水災害対策の支援 個人				
	水防活動の支援 地域 個人 企業・団体	自主防災組織に対する活動支援補助金制度・防災士資格取得補助金制度・避難所設備備蓄品の整備			

岩木川水系流域治水協議会（五所川原市）

流域にも視野を広げる
（自分のためにも、みんなのためにも）

連携活動

- 岩木川重要水防箇所合同巡視
(R6実績:岩木川上流:5人)
- 重要水防箇所合同巡視(県)
(R6実績:前田野目川4人、十川:4人)



広報

- 広報誌・SNSで災害リスク・平時の備えを周知

リスク情報等の提供

- 防災イベントでの啓発(R6実績:1回)
ハザードマップの配布・水害リスクの解説



教育活動

- 防災研修会等の実施(R6実績:約340名、17回)
- 自主防災組織結成のため出前講座
(R6実績:約50名、2回)
- 小学生への防災教育(R6実績:約30名、1回)



訓練活動

- 岩木川総合防水演習
- 水防工法訓練
- 自主防災組織による避難訓練
(R6実績:約50名、2回)



知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

岩木川水系流域治水協議会(五所川原市)

取り組み・主対象		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
知る機会を増やす	水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体	広報誌・SNSによる防災啓発 ●			
	連携活動 地域 個人	重要水防箇所合同巡視 (岩木川上流・下流) ●	重要水防箇所合同巡視 (十川、前田野目川、天神川) ●		
自分事と捉えることを促す	リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体	ハザードマップの周知水害・土砂災害リスクに対する理解促進 →			
	教育活動 地域 個人	地域住民対象の防災研修会の実施 →			
	訓練活動 地域 個人	自主防災組織結成のための出前講座 ●	小学生への防災教育 ●	自主防災組織・町内会の訓練支援 →	
行動を誘発する	計画策定 地域 個人 企業・団体	要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 →			
	水災害対策の支援 個人				
	水防活動の支援 地域 個人 企業・団体	水防工法訓練 排水ポンプ取扱訓練の実施 ●	災害時の応援協定と水防団の情報伝達体制の強化 →		

岩木川水系流域治水協議会（つがる市）

流域にも視野を広げる
（自分のためにも、みんなのためにも）

啓発活動

○広報誌による啓発活動



防災備蓄倉庫の視察研修

○防災備蓄倉庫の視察研修を通じて、つがる市の備蓄状況を認識させた。



研修者（約90名）

情報発信

○SNS（LINE）による情報発信
現在の登録者数
（2299名）



校外学習

○小学生への校外学習の中で段ボールベッドの体験をさせた。（18名）



出前講座

○防災ハザードマップ等を活用した出前講座（30名）



つがる市防災訓練



○防災訓練において避難所の受付、炊き出し、体験訓練を通じて市民の防災意識の高揚を図ることができた。（下車力地区 参加者83名）

研修会等の実施

○保健協力員会研修会（30名）



○地域防災活動ネットワーク研修会（7名）



○避難所運営に係る職員研修会（59名）



計画策定

○要配慮者における個別計画の作成

知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人・企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

岩木川流域治水協議会(つがる市)

取り組み・主対象		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
知る機会を増やす	水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体	広報誌で水害・土砂災害を啓発 ●	つがる市公式LINE・つがる市ホームページ・防災行政用無線を活用した情 (防災備蓄倉庫の視察研修)		
	連携活動 地域 個人	合同巡視参加 ●			
自分事と捉えることを促す	リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体	浸水想定区域、土砂災害警戒区域公表(つがる市ハザードマップ、つがる市ホームページ)			
	教育活動 地域 個人	出前講座 ●	出前講座 ●	出前講座 ●	
	訓練活動 地域 個人		研修会 ●	研修会 ●	住民参加型の避難訓練 ●
行動を誘発する	計画策定 地域 個人 企業・団体	要配慮者個別計画の作成			
	水災害対策の支援 個人	自主防災組織の結成			
	水防活動の支援 地域 個人 企業・団体	消防団への伝達体制強化			

岩木川水系流域治水協議会（平川市）

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
（自分のためにも、みんなのためにも）

情報伝達手段の多重化

- 地域の防災リーダーとの連携強化
メールを活用した連絡体制を構築し、災害発生の際の恐れがある場合の情報伝達手段を強化



水災害に関する広報

- 水害リスクに関する広報周知
 - ・防災マップの確認
 - ・気象情報の確認
 - ・非常用持ち出し品



知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

教育活動

- 自主防災組織に対する講演活動
- 市内小学生に向けた防災教育
 - ・令和6年度は防災カードゲームを活用した授業を実施



リスク情報等の提供

- 浸水想定区域、土砂災害計画区域等の周知
- 総合的な防災マップの作成・配布
- 避難場所や経路等に関する情報を周知



避難確保計画策定支援

- 避難の円滑化を図るため、福祉施設等に対し避難確保計画の策定支援

自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

水防活動の支援

- 自主防災組織に対する活動支援補助金制度
 - ・一定の活動を要件に世帯数に応じた資機材購入等に活用できる補助金を支給。



訓練活動

- 建設協会、消防署、民間企業、消防団、地域住民等と連携した総合的な防災訓練の実施



水害・水防対策の支援

- 地域団体と連携した防災訓練等の実施
- 水防団（消防団）と連携した水害訓練



行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

岩木川流域治水協議会(平川市)

取り組み・主対象		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
知る機会を増やす	水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体		広報誌で水害・土砂災害を啓発 ●		
	連携活動 地域 個人		関係機関等と連携した総合的な水防演習の実施 ● 町会行事にあわせた防災講演の実施 →		
自分事と捉えることを促す	リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体		災害時における情報伝達手段の周知 → 避難場所や経路等に関する情報の周知、市民への情報提供、メディア連携 →		
	教育活動 地域 個人		小学校等の学習機会にあわせた市職員による出前講座 → 防災学習に関する機会の周知、防災士資格取得費補助金の周知 →		
	訓練活動 地域 個人		住民参加型の避難訓練の実施 ● 防災マップの周知および住民の水害・土砂災害リスクに対する理解促進 →		
行動を誘発する	計画策定 地域 個人 企業・団体		要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 → 個別避難計画策定に向けた取り組み →		
	水災害対策の支援 地域		避難所看板の多言語化に向けた取り組み →		
	水防活動の支援 地域 個人 企業・団体		災害時の応援協定と水防団の情報伝達体制の強化 → 自主防災組織に対する活動支援補助金制度 →		

岩木川水系流域治水協議会（藤崎町）

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
自分のためにも、みんなのためにも

水災害、流域治水の広報

- 防災研修会(水害の現状とその対策)を開催し、自主防災組織の設立を促す(36人参加)



知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

リスク情報等の提供

- 総合的な防災マップの作成。洪水ハザードマップの更新、地震危険度等を追加した。



自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

訓練活動

- 住民参加型の防災訓練を実施(町職員、社会福祉協議会、町内会、自主防災組織 147人)



- 岩木川総合水防演習
国土交通省による岩木川総合水防演習を、岩木川左岸河川敷(鶴田町)において実施。水防技術の向上、地域社会の防災意識の向上及び災害対処能力の向上を図った



行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

計画策定

- 防災訓練をとおして、自主防災組織等の避難計画等の見直しを促す

教育活動

- ふじさき秋まつりにおいて、防災ブースを設置し、来場者に防災情報を周知した。



流域治水に取り組む主体が増える

岩木川流域治水協議会(藤崎町)

取り組み・主対象		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
知る機会を増やす	水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体			● 防災講話、研修会	
	連携活動 地域 個人				
自分事と捉えることを促す	リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体	→ 藤崎町防災マップの配布による周知			
	教育活動 地域 個人	→ 希望団体に対して、出張講話を実施			
	訓練活動 地域 個人		● 住民参加型の避難訓練		
行動を誘発する	計画策定 地域 個人 企業・団体	→ 藤崎町地域防災計画の見直し			
	水災害対策の支援 個人				
	水防活動の支援 地域 個人 企業・団体				

岩木川水系流域治水協議会（板柳町）

流域にも視野を広げる
（自分のためにも、みんなのためにも）

連携活動

- 防災をテーマとした男女共同参画フォーラム開催（R6. 2. 3 避難所運営訓練で調整）
- 民間主催の防災講演会（防災知識の向上）への参加（R6. 6. 28、R6. 12. 11 職員2人）
- 県主催の防災研修（避難所運営図上訓練）への参加（R6. 10. 7 職員3人）
- 中学生（2年生）を対象とした避難所運営訓練を実施（R6. 9. 19 生徒77人）



知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

リスク情報等の提供

- 新規転入者へのハザードマップの提供



- 避難場所等に関する情報の周知（毎戸配布・ホームページ）



計画策定等

- 令和6年度において地域防災計画修正を実施中

自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

地域防災力の強化

- 岩木川総合水防演習に参加（R6. 5. 26）



- 排水作業用小型動力ポンプを導入



- 役場庁舎と水防団（消防団）に配備している無線機で通信訓練を実施（R6. 11. 15）
- 避難所となる小中学校において避難所開設時の初動対応物品を配置（R6年10月）
- 役場幹部職員によるLINEを活用した災害情報の共有（R5. 7月～）
- 役場幹部職員の閉庁日等における所在場所共有（R5. 7月～）

水災害対策の支援

- 水防資材のストック状況の共有（役場、町内会等）

行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

岩木川流域治水協議会(板柳町)

取り組み・主対象		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
知る機会を増やす	水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体	洪水ハザードマップの配布等			
	連携活動 地域 個人	小学校の社会科見学等の機会を利用しダム（津軽ダム・浅瀬石川ダム等）の役割等を説明 民間団体主催の防災教室等への参加			
自分事と捉えることを促す	リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体	避難場所等に関する情報の周知、町民への情報提供、メディア連携			
	教育活動 地域 個人	防災講話、研修会 小中学校における防災教育、出前授業			
	訓練活動 地域 個人	中学生を対象とした避難所開設訓練 住民参加型の避難訓練 ハザードマップの周知および住民の水害に対する理解促進			
行動を誘発する	計画策定 地域 個人 企業・団体	要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保			
	水災害対策の支援 個人	水防資材のストック状況共有			
	水防活動の支援 地域 個人 企業・団体	水防活動資材の整備 災害時の応援協定と水防団の情報伝達体制の強化			

岩木川水系流域治水協議会（鶴田町）

流域にも視野を広げる
（自分のためにも、みんなのためにも）

情報取得及び発信手段の多様化

○新たな情報取得及び発信手段として鶴田町公式LINEをリニューアル。洪水ハザードマップなどの防災に関する情報をLINEからでも簡単に取得できるようになった。



知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

教育活動

- 鶴田中学校3学年「避難所運営訓練」を実施（1回、約85人）
- 鶴田町みどり町防災訓練を実施（1回、52人）



リスク情報等の提供

○町広報誌に災害への備えや備蓄品等の記事を掲載。ハザードマップ更新。



自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

要配慮者利用施設

○要配慮者利用施設の避難の実効性確保

行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

岩木川流域治水協議会(鶴田町)

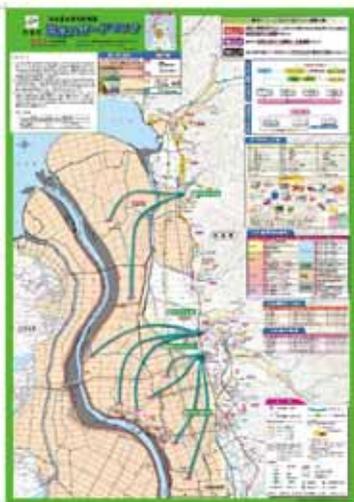
取り組み・主対象		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
知る機会を増やす	水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体	町公式LINE等による防災情報の周知			
	連携活動 地域 個人				
自分事と捉えることを促す	リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体	ハザードマップを活用した水害リスクの周知			
	教育活動 地域 個人				
	訓練活動 地域 個人	自主防災組織等と連携した教育・訓練活動			
行動を誘発する	計画策定 地域 個人 企業・団体	要配慮者利用施設の避難の実効性確保			
	水災害対策の支援 個人				
	水防活動の支援 地域 個人 企業・団体				

岩木川水系流域治水協議会（中泊町）

流域にも視野を広げる
（自分のためにも、みんなのためにも）

流域治水の広報

- 岩木川浸水想定区域図、ため池ハザードマップ、土砂災害警戒区域を統合したハザードマップを作成・配布



知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

教育活動

- 県事業を活用し、自主防災組織や町内会等を対象にした自主防災体験研修会の開催



- 中学生を対象に、一般社団法人男女共同参画地域みらいねっとが避難所運営体験を実施
将来の地域防災を支えるためのモデル事業

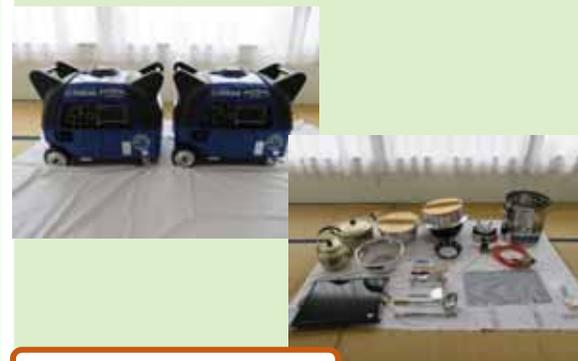


自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

水災害対策の支援

- 自主防災組織の防災備品の整備



災害備蓄品の確保

- 大規模災害発生に備えた段ボールベッドやパーテーションなどを購入（約2,500名分）



行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

岩木川流域治水協議会(中泊町)

取り組み・主対象		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
知る機会を増やす	水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体		● 広報誌で水害・土砂災害を啓発		
	連携活動 地域 個人		● 砂防施設を活用し、小学生を対象とした社会科見学 小学校の社会科見学等の機会を利用しダム・砂防堰堤等の役割等を説明		
自分事と捉えることを促す	リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体	土砂災害ハザードマップの更新、配布等			
		避難場所や経路等に関する情報の周知、市民への情報提供、メディア連携			
	教育活動 地域 個人		● 小中学校における防災教育	● 自主防災体験研修会	
	訓練活動 地域 個人	防災教育、避難訓練の推進			
		●	●	●	住民参加型の避難訓練
		ハザードマップの周知、地域防災力向上のための集落単位での説明会、水防団の訓練			
行動を誘発する	計画策定 地域 個人 企業・団体	要配慮者施設等の実効性確保			
	水災害対策の支援 個人	個別避難計画の作成			
	水防活動の支援 地域 個人 企業・団体	災害時の応援協定と水防団の情報伝達体制の強化			

岩木川水系流域治水協議会（大鰐町）

流域にも視野を広げる
（自分のためにも、みんなのためにも）

流域治水の広報

○防災マップに岩木川水系平川が氾濫した場合の洪水浸水想定区域と、当町における土砂災害特別警戒区域・土砂災害警戒区域、町が指定している避難所等の情報を掲載。町民への配布を行う。
また、HPへの掲載、転入者への住民窓口配布を行う。



リスク情報等の提供

訓練活動

訓練参加

○総合防災訓練を実施（大鰐町、1回、150人）
訓練項目内に土のうの作成訓練を計画し実施予定。



知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

岩木川流域治水協議会(大鰐町)

取り組み・主対象		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
知る機会を増やす	水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体				
	連携活動 地域 個人				
自分事と捉えることを促す	リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体	青森県が公表した岩木川水系平川が氾濫した場合の洪水浸水想定区域と、当町における土砂災害特別警戒区域・土砂災害警戒区域、町が指定している避難所等の情報を掲載			
	教育活動 地域 個人				
	訓練活動 地域 個人	総合防災訓練の実施。訓練の中で水害に備えた土のうの作成訓練を実施した。			
行動を誘発する	計画策定 地域 個人 企業・団体				
	水災害対策の支援 個人				
	水防活動の支援 地域 個人 企業・団体				

岩木川水系流域治水協議会（田舎館村）

流域にも視野を広げる
（自分のためにも、みんなのためにも）

連携活動

○消防団による重要水防箇所の巡視を行うことにより、危険箇所を把握する。

水災害の広報

○住民向けの防災研修会を開催することにより、防災意識向上を図る。



知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

訓練活動

○浸水区域内の住民が参加する避難訓練を実施し、避難経路や危険箇所等を確認する。



リスク情報等の提供

○洪水ハザードマップの配布
○内水ハザードマップの作成・配布。

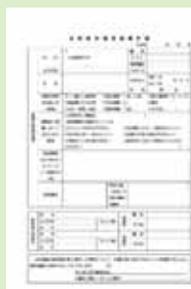


自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

計画策定

○住民による個別避難計画の作成を推進し、支援する。



水災害対策の支援

○自主防災組織を対象とした防災資機材の整備に係る経費に対し補助する。



行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

岩木川流域治水協議会(田舎館村)

取り組み・主対象		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
知る機会を増やす	水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体		水害に関する住民向け研修会 ● 広報誌による水害の啓発 ●		
	連携活動 地域 個人	消防団による重要 水防箇所の巡視 ●			
自分事と捉えることを促す	リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体	洪水ハザードマップの配布及び内水ハザードマップの作成・配布 →			
	教育活動 地域 個人				
	訓練活動 地域 個人		住民参加型 避難訓練 ●		
行動を誘発する	計画策定 地域 個人 企業・団体	個別避難計画作成支援 →			
	水災害対策の支援 個人	自主防災組織に対する防災資機材整備に係る補助 →			
	水防活動の支援 地域 個人 企業・団体				

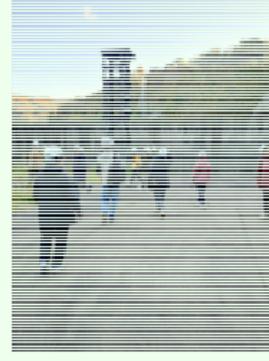
岩木川水系流域治水協議会（西目屋村）

結果報告： 具体的取組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
（自分のためにも、みんなのためにも）

教育活動

○中南郡職員を対象にした津軽ダム見学ツアー（1回、約25人）



広報紙での水害・土砂災害啓発



リスク情報等の提供

○総合的ハザードマップの更新、配布
○避難場所、避難所に関する情報発信（村ケーブルテレビ、村アプリ）



訓練活動

○岩木川総合水防演習への参加（西目屋村、1回、約35人）



水災害対策の支援

○転入世帯に対する防災バッグの配布による早期避難促進啓発



計画策定

○要配慮者の個別避難計画作成促進

知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

岩木川流域治水協議会(西目屋村)

取り組み・主対象		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
知る機会を増やす	水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体		● 広報誌で水害・土砂災害を啓発		
	連携活動 地域 個人				
自分事と捉えることを促す	リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体	総合的ハザードマップの更新、配布等 避難場所や避難所に関する情報の周知、市民への情報提供			
	教育活動 地域 個人			● 中南郡町村職員対象の津軽ダム見学ツアーを含む研修会の実施	
	訓練活動 地域 個人	● 水防工法訓練への参加			
行動を誘発する	計画策定 地域 個人 企業・団体	要配慮避難者の個別避難計画の作成促進			
	水災害対策の支援 個人	転入世帯に対する防災バッグの配布による早期避難促進啓発			
	水防活動の支援 地域 個人 企業・団体				

岩木川水系流域治水協議会（青森県農村整備課）

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

雨水貯留の実践
(田んぼダムの取組の普及)

○田んぼダムの取組マニュアルや農家向けのパンフレットを作成

雨水貯留の実践
(田んぼダムの取組の推進)

○ほ場整備事業により田んぼダム用の排水樹等を設置

知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

岩木川流域治水協議会(青森県農村整備課)

取り組み・主対象		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
知る機会を増やす	水田貯留の実践 (田んぼダムの取組の普及) 地域 個人 団体	田んぼダムの取組マニュアル、パンフレットの配布			
自分事と捉えることを促す	水田貯留の実践 (田んぼダムの取組の普及) 地域 個人 団体	田んぼダムの取組マニュアル、パンフレットの配布			
行動を誘発する	水田貯留の実践 (田んぼダムの取組の推進) 地域 個人 団体	ほ場整備事業により田んぼダム用の排水樹等を設置			

岩木川水系流域治水協議会（青森県林政課）

流域にも視野を広げる
（自分のためにも、みんなのためにも）

治山事業のPR

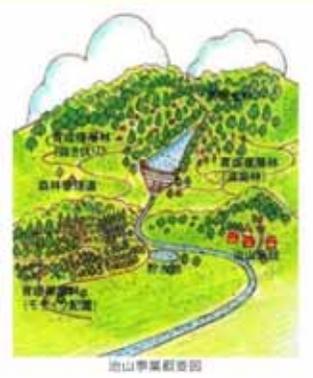
治山事業

治山事業は、森林法に基づき、保安林の指定目的を達成するために行う森林の造成事業です。

治山事業の役割とは

- 土砂災害に強い森林づくりを進め、安全で快適な暮らしを守る
- 森林の水質浄化機能により豊かな水を育む山づくり
- 海岸からの砂粒等を防止する森林を育む
- 森林と人との共生林づくり

○県庁のHPにて、治山事業の役割や大切さについてPR



治山事業概要図

土砂災害に強い森林づくりを進め、安全で快適な暮らしを守ります

知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

リスク情報等の提供

青森県 山地災害危険地区 位置情報の使い方

青森県 森林水産部 林政課

■画面構成について

画面構成は、下記に示すとおりです。それぞれの名称は、以下の解説で説明します。



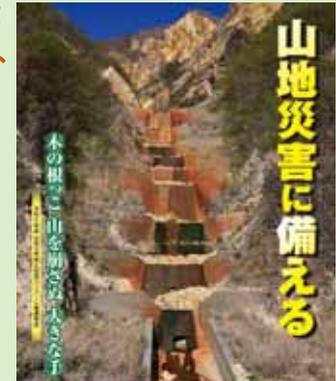
○青森県山地災害危険地区(民有林)の位置情報等について、インターネット上で公開し地域住民へ周知

自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

山地災害防止キャンペーンの実施

○住民等に対する意識啓発を図るため、山地災害の防止に関するポスターとパンフレットを各関係機関に送付するとともに、県合同庁舎と各市町村ではロビー等に掲示



・実施期間
R6.5.20～6.30



行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

岩木川流域治水協議会 (青森県林政課)

取り組み・主対象		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
知る機会を増やす	<p>治山事業のPR 地域 個人 企業・団体 </p>	<p>県庁のHPにて、治山事業の役割や大切さについてPR</p> 			
	<p>リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体 </p>	<p>青森県山地災害危険地区(民有林)の位置情報等について、インターネット上で公開し地域住民へ周知</p> 			
自分事と捉えることを促す					
行動を誘発する	<p>山地災害防止キャンペーンの実施 地域 個人 企業・団体 </p>	<p>住民等に対する意識啓発を図るため、山地災害の防止に関するポスターとパンフレットを各関係機関に送付するとともに、県合同庁舎と各市町村ではロビー等に掲示</p> 			

岩木川水系流域治水協議会（青森県河川砂防課）

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
（自分のためにも、みんなのためにも）

流域治水の広報

- 流域治水を推進することを目的としたイベントの開催



流域治水シンポジウム(土砂災害防止講演会)



あおり流域治水キャンペーンinサンロード青森

知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

リスク情報等の提供

- 浸水想定区域、土砂災害が発生するおそれのある箇所公表



洪水浸水想定区域図



土砂災害が発生するおそれのある箇所図

自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

水災害対策の支援

- 河川改修



十川改修事業

行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

岩木川流域治水協議会(青森県河川砂防課)

取り組み・主対象		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
知る機会を増やす	水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体	流域治水を広報するイベントの実施			
	連携活動 地域 個人				
自分事と捉えることを促す	リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体	浸水想定区域、土砂災害が発生するおそれのある箇所の公表			
	教育活動 地域 個人	川の防災安全教室、出前講座の実施			
	訓練活動 地域 個人				
行動を誘発する	計画策定 地域 個人 企業・団体				
	水災害対策の支援 個人	河川改修の実施			
	水防活動の支援 地域 個人 企業・団体				

岩木川水系流域治水協議会（青森県危機管理局）

流域にも視野を広げる
（自分のためにも、みんなのためにも）

広報活動

○避難情報の運用に関するポスターの掲示及びマイ・タイムラインの周知



○あおりおまもり手帳を活用した普及啓発



知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

出前講座

○住民や企業を対象として、防災に関する知識の普及を実施



教育活動

○分かりやすい教材等を用いた小・中学生への防災教育



自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

研修会開催

○自主防災組織の設立を促進するため、住民向けの啓発・支援を実施



訓練活動

○市町村における風水害対策図上訓練の企画実施を支援



行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

岩木川流域治水協議会(青森県危機管理局)

取り組み・主対象		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
知る機会を増やす	広報活動 地域 個人 企業・団体	避難情報の運用に関するポスターの掲示及びマイ・タイムラインの周知			
		あおりおまもり手帳を活用した普及啓発			
自分事と捉えることを促す	出前講座 地域 個人 企業・団体	住民や企業を対象として、防災に関する知識の普及を実施			
	教育活動 地域 個人	分かりやすい教材等を用いた小・中学生への防災教育			
行動を誘発する	研修会開催 地域 個人 企業・団体	自主防災組織の設立を促進するため、住民向けの啓発・支援を実施			
	訓練活動 地域 個人 企業・団体	市町村における災害対策図上訓練の企画実施を支援			

岩木川水系流域治水協議会（東北農政局北奥羽土地改良調査管理事務所）

流域にも視野を広げる
自分のためにも、みんなのためにも

水災害の広報



○農林水産省HPに災害に関する情報を公開

知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

リスク情報等の提供



○農林水産省HPに災害等に備えた予防減災に関する情報を公開

自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。



○「自然災害等のリスクに備えるためのチェックリストと農業版BCP」についてパンフレット・チラシを農林水産省HPに公開

行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人・企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

岩木川流域治水協議会(東北農政局北奥羽土地改良調査管理事務所)

取り組み・主対象		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
知る機会を増やす	水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体	災害に関する情報を農林水産省HPで公開			
	連携活動 地域 個人				
自分事と捉えることを促す	リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体	災害等に備えた予防減災に関する情報を農林水産省HPで公開			
	教育活動 地域 個人				
	訓練活動 地域 個人				
行動を誘発する	計画策定 地域 個人 企業・団体	自然災害等のリスクに備えるためのチェックリストと農業版BCPを農林水産省HPで公開			
	水災害対策の支援 個人				
	水防活動の支援 地域 個人 企業・団体				

岩木川水系流域治水協議会（津軽森林管理署）

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
（自分のためにも、みんなのためにも）

国有林野事業の広報

○森林整備や治山事業の取組概要をホームページ上で発信

津軽の国有林
令和6年度版

津軽森林管理署
〒049-0101 青森県津軽郡大湊町大湊

「森のために
いろいろな取組を進めています」

保安林等の整備

「新しい林業」の実現に向けて

木材利用の推進

教育活動

○森林の役割や大切さ等の理解を深めるため、地元小学生を対象に林業体験活動および植物観察を実施（R6、3回、65人）



森林づくりへの住民参加

○岩木川流域上流部の国有林において、一般参加者を募り、広葉樹を植樹する森林づくりを実施（R6、2回、13人）



（津軽白神森林生態系保全センター）

知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

自分事と捉えることを促す

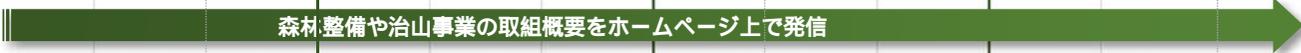
水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人・企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

岩木川流域治水協議会 (津軽森林管理署)

取り組み・主対象		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
知る機会を増やす	国有林野事業の広報				
	教育活動		●	● ● ●	
	小学生を対象とした林業体験学習				
自分事と捉えることを促す					
行動を誘発する	森林づくりへの住民参加		●	●	
	公募による植樹活動を実施				

岩木川水系流域治水協議会（森林整備センター）

流域にも視野を広げる
自分のためにも、みんなのためにも

水源林造成事業の広報

○森林整備の取組概要をホームページや広報誌で発信



知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

森林所有者等との会議

○所有する森林が、災害を防止するために重要な機能を持っていることを知り、公益的機能をさらに発揮させたいと考えるきっかけとする。(R6年度約30名)



自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

育成複層林や長伐期化を推進

○森林所有者等と協力して、岩木川流域上流部の民有林において、育成複層林を造成(R6年度8ha、R7年度9ha予定)



行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人・企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

岩木川流域治水協議会（森林整備センター）

取り組み・主対象		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
知る機会を増やす	水源林造成事業の広報	ホームページで発信			
		●	●	●	●
				森林整備センター広報誌	季刊水源林の発行
自分事と捉えることを促す	造林地所有者等との協議	●		●	
		造林事業打合せ会議		分収造林契約に基づく主伐協議	
行動を誘発する	育成複層林や長伐期化を推進	●		●	
		育成複層林（下木）の植栽		育成複層林（上木）の伐採	

岩木川水系流域治水協議会（青森地方気象台）

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

教育活動

○県、市町村、河川事務所等の防災担当者向けに、大雨に関する防災気象情報等のWeb講座を実施。

リスク情報等の提供

○キキクルにより浸水、土砂、洪水の危険度を提供



知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

岩木川流域治水協議会(青森地方气象台)

取り組み・主対象		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
知る機会を増やす	水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体				
	連携活動 地域 個人				
自分事と捉えることを促す	リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体	キキクルにより浸水、土砂、洪水の危険度を提供 			
	教育活動 地域		防災気象情報に関するWeb講座の実施 		
	訓練活動 地域 個人				
行動を誘発する	計画策定 地域 個人 企業・団体				
	水災害対策の支援 個人				
	水防活動の支援 地域 個人 企業・団体				

岩木川水系流域治水協議会（岩木川ダム統合管理事務所）

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

○「水陸両用バス」に「津軽ダム内部見学」がセットになったスペシャル運行「ニシメヤ・ダムレイクツアー」の開催
5月～10月 毎月1日 2回 計12回



流域治水の広報

○「岩木川ダムメール」で登録者へ放流情報をお知らせ
登録数 384件



○「岩木川ダム統管だより」
配布先数 203箇所

○河川空間の利活用を通じた意識醸成「津軽ダムサマーフェスタ、浅瀬石川ダムダム湖ふれあいデー」を、森と湖に親しむ旬間の期間に実施 2ダム、約1,000人



教育活動

○ダム見学等の機会を利用した防災教育
津軽ダム 72回 1,658人
浅瀬石川ダム 62回 1,470人



訓練活動

○住民参加型の避難訓練を実施
・浅瀬石川ダム(黒石市 約40人)



リスク情報等の提供

○ダム下流浸水想定区域等を公表(ダム下流地区)
○総合的な防災マップの作成、洪水ハザードマップを更新



水災害対策の支援

○自治体主催の水防等訓練への参加(TEC-FORCE、リエゾン、災害対策用機械等の支援)



知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を生み出す。

行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

岩木川流域治水協議会(岩木川ダム統合管理事務所)

取り組み・主対象		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
知る機会を増やす	水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体		● 河川空間の利活用を通じた意識の醸成(森と湖に親しむ旬間)	→ 岩木川ダムメールや広報紙でダムの管理・水害土砂災害について情報発信	
	連携活動 地域 個人 企業・団体		→ ニシメヤ・ダムレイクツアーの機会を利用しダムの役割等を説明		
自分事と捉えることを促す	リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体	→ ダム下流浸水想定区域等の公表、洪水ハザードマップの更新			
	教育活動 地域 個人 企業・団体	→ 小中高校生の校外学習(ダム見学)等の機会を利用した防災教育			
	訓練活動 地域 個人 企業・団体		● 住民参加型の避難訓練		
行動を誘発する	計画策定				
	水災害対策の支援 地域 個人 企業・団体			● 自治体主催の水防等訓練への参加 (TEC-FORCE、リエゾン、災害対策用機械等の支援)	
	水防活動の支援				

岩木川水系流域治水協議会（青森河川国道事務所）

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
（自分のためにもみんなのためにも）

連携活動

- 重要水防箇所合同巡視の実施
(R6実績:岩木川上流:66人、下流:83人)



流域治水の広報

- 流域治水の取り組み推進のための広報や関係機関調整
- SNSを使用した防災情報の共有
- インフラDX（三次元ハザードマップ等）による流域治水広報の実践



知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

教育活動

- 出前講座等の実施
- 小学生の体験学習として、水生生物調査、河川の学習会を実施



計画策定

- 河川整備計画の変更を検討
- 岩木川中流・上流緊急治水対策プロジェクトの実施



自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

訓練活動

- 岩木川総合防水演習
- 水防工法訓練
- 緊急排水訓練の実施



水防活動の支援

- 水防拠点の整備



水災害対策の支援

- 河道掘削・堤防整備
- 道路高台等への避難場所の整備・確保



行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

岩木川流域治水協議会(青森河川国道事務所)

取り組み・主対象		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
知る機会を増やす	水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体	流域治水の取り組み推進のための広報や関係機関調整			
	連携活動 地域 個人	重要水防箇所合同巡視 (岩木川上流・下流)			
自分事と捉えることを促す	リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体				
	教育活動 地域 個人	出前講座			
	訓練活動 地域 個人	ハザードマップの周知および住民の水害・土砂災害リスクに対する理解促進			
行動を誘発する	計画策定 地域 個人 企業・団体	洪水対応演習			
	水災害対策の支援 個人	水防工法訓練・緊急排水訓練の実施			
	水防活動の支援 地域 個人 企業・団体	河川整備計画の変更検討			
		河道掘削・堤防整備の推進			